



#### 第778回抄録委員会（1月10日）

本誌3月号・4月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。



#### 水道事故防止研修会（大阪会場：1月11日～12日）

本研修会は、水道管路及び浄水場等における事故の未然防止や職員の危機管理対応力の向上等を目的として実施している。今回、浄水場の運転・維持管理に従事する技術職員の方々29名の参加を得て、「浄水場におけるリスクアセスメント」、「水道事業に係わる事故事例と再発防止策」、「水道事業における危機管理」についてディスカッションを中心とした研修を実施した。ディスカッションでは班ごとに事故の原因や再発防止対策等について、講師が用意した事例を基に討議を行った。

#### 水道施設管理技士1・2級資格試験（1月14日）

令和5年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国6会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、福岡市）で実施し、計706名が受験した。

#### 浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第7回：1月16日～19日、

東京会場第8回：1月30日～2月2日）

本研修会は、設備機器の保守・管理の実務を習得するとともに、訓練用設備を利用して実際にポンプの分解組立等、機器類の運転操作を実習することにより、受講者の技術・技能レベルの向上を目的としている。

今回、浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々27名（第7回：12名、第8回：15名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

### 第204回工務常設調査委員会（1月16日）

はじめに、本荘谷工務部長から開会挨拶があった。

その後、松田委員長の進行の下、「JWWA規格の改正について」審議を行い、了承された。この他、「JWWA規格の改正に関する衛生常設調査委員会での審議結果について」、「認証取得に係わる不適切行為に関する本協会の対応」、「水道行政の移管に向けた検討委員会 活動状況について」、「配水管工技能講習会に係る受講料等の改定について」、「令和6年能登半島地震に係る日本水道協会の対応状況について」、「令和5年1月における給水装置等の凍結被害に係わるアンケートについて」、「第3回水道施設設計指針改訂特別調査委員会について」、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向について」、「受信力・情報発信の強化について」、事務局より報告を行った。

加えて、水道事業体委員より令和6年能登半島地震に関する応援状況について、報告がされた。



### 第191回水道 GLP 認定委員会（1月23日）

水道 GLP 認定について審議した結果、株式会社総合保健センター（JWWA-GLP028）、株式会社東洋環境分析センター（JWWA-GLP122）、滋賀県企業庁（JWWA-GLP123）及び株式会社保健科学東日本（JWWA-GLP144）の認定更新を決定した。

また、柏崎市上下水道局（JWWA-GLP051）、青森市企業局（JWWA-GLP058）、株式会社丹野（JWWA-GLP130）及び一宮市上下水道部（JWWA-GLP149）の認定維持、並びに八戸圏域水道企業団（JWWA-GLP031）、株式会社東海テクノ（JWWA-GLP082）、一般財団法人上越環境科学センター（JWWA-GLP083）及び一般財団法人沖縄県環境科学センター（JWWA-GLP084）の認定延長を決定した。

### 水道技術者専門別研修会（浄水施設部門）（1月23日～26日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々63名の参加を得て、「水質管理」、「浄水施設～取水・沈澱等～」、「浄水施設～汙過・排水処理等～」、「機械設備・電気設備・計装設備」、「運転・保全管理と業務委託」、「水質概論」及び「水質管理」について、研修を実施した。

#### 第1022回会誌編集委員会（1月29日）

本誌2・3月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。



#### 水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（1月30日～2月2日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々87名の参加を得て、「電気設備～受電・変電・配電設備～」、「機械設備（Ⅰ）～ポンプ及び浄水・排水処理設備～」、「機械設備（Ⅱ）～高度浄水処理・膜汚過設備・紫外線～」、「計装設備～浄水処理設備の計測・制御及び遠方監視制御設備の制御～」、「運転・保全管理と業務委託」及び「機械・電気・計装設備の更新」について、研修を実施した。

#### 第44回府県営水道連絡協議会（1月31日）

本協議会のメンバー事業体から提案された情報交換事項、「退職手当及び退職給付引当金に係る基準について」、「収納方法（給水料金、その他収入）の多様化について」、「県の水道行政部局と県企業局（庁）との協力体制について」、「建設負担水量（基本水量）の整理について」、「DXに関する導入・検討状況について」、「浄水場発生土の乾燥促進について」、「水道行政移管に伴う生活基盤施設耐震化等交付金について」、「PPP/PFI等（コンセッション、PFI、DB、DBO、DBM等）の検討・実施状況について」、「浄水場施設の電力調達について」、「将来を見据えた送水管路全ルート布設替えについて」、「県の送水管から受水団体の配水管へ直接接続する緊急連絡管の整備状況について」の、計11題についてそれぞれ情報・意見交換を行った。

#### 第54回 IWA 日本国内委員会（2月5日）

はじめに、IWAの最近の動きとして、東京大学滝沢委員長より「IWA理事会参加報告」をいただいた。続いて事務局からは「IWA-ASPIRE評議会及び会議・展示会（高雄）の参加報告」、「IWA統計・経済スペシャリストグループ報告」、「今後の国際イベント紹介」、「若手国際活動支援等資金給付実績」についての報告を行った。また、オブザーバーより「IWA戦略評議会活動報告」、「IWA開発会議参加報告」、「Japan-YWPの活動状況」について報告があり、活発な意見交換が行われた。



#### 第91回中小規模水道問題協議会（2月6日）

はじめに、近畿大学経営学部 浦上教授より「水道料金の値上げについて」をテーマに講演を行った。

続いて、メンバー都市から提案された情報交換事項「①スマートメーター導入の取り組みについて」、「②有機フッ素化合物（PFAS）への対応について」、「③受水槽の管理について」、「④河川区域内に敷設する水道管の防護措置について」、「⑤水道料金以外の収入への取り組みについて」の5題について、それぞれ情報交換を行った。

最後に、事務局から、「水道行政の移管に向けた検討委員会の活動状況について」及び「情報発信スキルアップセミナーの開催について」説明を行った。



#### 水道技術者専門別研修会（給水装置部門）（2月6日～9日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々85名の参加を得て、「給水装置の構造及び材質の基準」、「給水装置概論」、「給水管及び給水用具」、「指定給水装置工事業業者制度」、「給水装置の設計・水理計算演習」、「給水装置工事の施工等」、「給水装置の維持管理～事故事例とその対応～」について研修を実施した。

#### 水道施設耐震技術研修会（大阪会場：2月9日～10日）

本研修会は、水道事業において重要な課題となっている水道施設の耐震化について、実務に活用できる体系的知識の習得を行い、もって円滑な水道施設の耐震化に寄与することを目的としている。

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々72名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「総則、水道施設の地震対策、耐震設計の基本」、「構造物別の耐震計算と性能照査」、「水道施設における建築物の耐震計算法、機械電気設備の耐震設計」、「水管橋および水路橋の耐震計算と性能照査」、「池状構造物」について研修を実施した。